#### 組合の楽しい便り 投稿歓迎します。

## No442

### 令和 4 年 7 月 号

編集:広報・情報システム委員会 TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

#### 東京都ラベル印刷協同組合

■111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

中ン もる回 て 復れ六 高攻中わい 深な 答 旧 7 % 小サ 察昨 ま 擊 小れ う 刻 が  $\bigcirc$ に 11 لح 企ム庁 0  $\mathcal{O}$ 企 لح 年 る 業 ウ な 全 ま V IJ 大  $\bigcirc$ カュ 0 1 九 Ď 中 体 が 企 IJ  $\bigcirc$ カュ す 工 V ス 月 ポ ス デ 占 T ク 1 業  $\mathcal{O}$ 万 0 T 対 に ジ B 被 ク 企 円 た ま  $\Diamond$  $\mathcal{O}$ ŧ す 発 لح 九 費 タ 被 ま で 官 害 以 る コ る  $\vdash$ 表 で % 上 用 が 割 害 す 口 サ L 公 さ لح 掲 ナ た 0 لح を 調 合  $\mathcal{O}$ は イ 庁 に が バが 告 て 占 す つ査 載 う 以 が撃 0 n いてめ るいやさ六ち ラた 1 狙

サイバーセキュリティ 対策は万全ですか? 狙われるのは大企業だけで なく、中小企業が 66%に

機いい近求解ば

年 す 除

> 手 る 前

で 金  $\Box$ 

し

代

わ Ρ

1) C

銭

は

ツ

0

悪 情

な を が

脅 流 主

に さ

て

ク 質 報

ラ

 $\vdash$ な せ

5

#### サイバー攻撃の具体例





所有するIT機器が悪意のポット用マルウェアに感染すると、攻撃者が管理する攻撃用の仕 組みであるポットネットに接続され、あなたが知らないところでサイバー攻撃に参加させら れることになります。気づかずに加害者的立場になってしまうかもしれません。



ランサムウェアに感染すると、パソコンなどのファイルを暗号化され、解除するためには 身代金を要求されます。しかし、身代金を払っても解除するキーをもらえるとは振りません。 替設からシステムやデータのパックアップを取って、元の状態に戻せるように備えましょう。 どうやって侵入されるのか、実例の記事をさがして学んでみましょう。

+ 様 Ħ だ ラ な لح カコ イ 機 設 に チ 密 計 情 エ デ 製 報 造 が タ  $\mathcal{O}$ あ な る تلح 角  $\mathcal{O}$ 建 で を  $\mathcal{O}$ 設

以

前

は

+

1

バ

攻

上

のあ ま 声 は る 擊 引 関 象 サ が 被 ŋ لح  $\mathcal{O}$ 先 す に 間 る 害 1 被 を る 行 企 で 経 ア 業 数 賠 に 実 う 害 0 バ 小 た 償 結 際 口 が 由 近 説 答 +  $\bigcirc$ を U に 及 ケ L 攻 て ]  $\bigcirc$ 求 が イ 0 映 V) だ サ 社 11 報  $\vdash$ 画 ま た 1 で 1 る 漏 五経 ほ い 場  $\mathcal{O}$ 洩 % 験 バは攻 J. う 擊 た 合 な ほが を 世 11 う تلح تلح と あ 攻取に対 界

ŧ

ば

に

イ

は正

 ${\not\vdash}^{\circ}$ 

7

1

タ

ウ

ス 的 る 7

لح

プ

口

グ 他 7 に  $\mathcal{O}$ 

ラ 者

般

に 不

ウ コ 普 表

T B 業

を な

攻 ど て

擊 が

す

ス 務 Ł

段 的

ホ使は

0

11

る さ

ソ

ル

な

2

な

W

が

う

B

0

7 1 報

未 ス を

カコ で

ょ تلح ょ

要

に

な に あ カ イ

0 防 る 0 T 迫 出 流 に を

7

き

7 が

11

る

لح

言

う

な

Ł 預

 $\mathcal{O}$ 

密 ま

情 す た は る す 以

て

1

る カコ 0 る

ŋ ŋ ソ ま盗 コ す ま れ な た تلح  $\mathcal{O}$ す 脆 る 弱 Ł

性

パ

がれ情

た 報 タ 呼 コ な エ

B

お ネ n

金

が

流

出

さ 7 L ル

せ 機

5

ツ

1

を

通 感

ľ 染 1

密

あ

目 ラ 立 で 0 は 7 製 ま 造 ウ 工 B ア 建 لح 設 言 業 が 担 擊

た を ク が 要 後 機 サ  $\mathcal{O}$ 先 IJ う に ラ ス 中 な n イ ク け 小 大 だ 得 チ 7 企 阪 ま け L 業 エ 商 ま が 1 工 サ は う 会 全 済 イ 議 体 ま バ ず  $\mathcal{O}$ 自 所 危 社 攻 が

7 体 かの サ ろ ? 11 な 話 تلح 実 イ る で カコ  $\mathcal{O}$ は バ \$ لح لح あ 思 ] 日 な な 常 攻 0 た 7 擊 的 で  $\mathcal{O}$ 11 لح す に 会 身 ま L 起 近 社 7 な B せ 4

 $\mathcal{U}$ ŋ り う ホ ま ま 込 を だ す ま す せ ま が 感 た L 染 下 ŋ そ さ て セ す 悪 のせ 丰 る 機 意 る ŧ 知  $\mathcal{O}$ 器 ŧ ユ 罠 IJ  $\mathcal{O}$ 5  $\mathcal{O}$ ŧ に 所 £ な テ あ 飛 有 らに  $\mathcal{O}$ る の操 情 7 か な サ は 作 報 ル に ŋ ず 1 さ 流 ウ が バれ 出 エ そ 穾 だ T あ 然 れ ŋ 攻 他 け 社 ま 擊 5 加  $\mathcal{O}$ で 感 会的 す。  $\mathcal{O}$ 害 に 会 な 事 者 利 社 す 信例 的 被 用 な 勝 る 用が立害 さ الملح 手

IJ ウ悪 装 ン エ 意 例 ク ブ L  $\mathcal{O}$ え た B サ ホ ば イ 7 1 ル添 1  $\Delta$ 付  $\sim$ 子 ] ファ メ 誘 ジ ] 1 導 以 ル す ル に る 下 に

な

ると

を 明 場 者 れ

こと

疑 そ

わ 0 析

ず <

と

で

L

ょ

う。

る攻 لح で作をルせ偽 擊 で 開  $\mathcal{O}$ 開 あ 業  $\mathcal{O}$ あ れはい IJ か ン 糸 り ば 7 せ ク る П 毎 ピ 確 ジ 認 やわ に そ 日 する ネ Þ 0 W 添 な な ス 付 0 が 行 て パと フ ] 動 ア 0 11 11 るこ T が ソ 0 1 11 ン た ル 

Ι  $\mathcal{O}$ ネを ŧ 偽 寸 5 D ツ 開 知 IJ لح サ  $\vdash$ n 11 パ ン 1 バ 7 ま ク 口そ ス 1 ンみ せ ワ キ で 座 に れ W を ] な か ば グ ら使 ド 0 有 لح て IJ 不わ を 名 ン思 瓜 正れ入い 銀 力 て、 会 う ク 送 行 金 社 さ つの 先か

け ウ で エ す ア を 含 メ ま まる でに 行 場 に を 失 パう ょ 合 す す が タ 7 し暗 0 ŋ で ŧ が ル て 号 ソ か Ł き あ 元 身 ウ 化 ŧ コ なく بنح エ ŋ 事 身 L アも ŧ 代 お 前 金 7 れ な な す り 金 読 ま  $\mathcal{O}$ を ど に 対 る L 払 急 を  $\Diamond$ せ  $\mathcal{O}$ 策 要 な  $\mathcal{O}$ な 0 増  $\lambda$ いデ で、 て 求 が 業 5 L

Ł

T

0) で 7 す ウ エ ア は と f カュ 攻 た 撃 ビ を لح 欺 С わ れ る、 は、 いには実撃 事 れ他 ジ で 前 る に ビジ が す。 ネ に 攻 事 企 ŧ あ ス 業 良 擊 例 電 すする ネ ŋ 用な < と 子 ま بخ 分 L  $\mathcal{O}$ ス メ を す 詐 析 相 て メ 0 ] 対 欺 は L 手

> ± + iz た。 ŋ れ係 な が 分 振  $\mathcal{O}$ で  $\mathcal{O}$ に ŋ メ 取 た メ 考 1 引 1 込 لح え 先 んル ル 11 う 5 で が を を で 事 届 装盗 前 規 れし 話 ŧ るこ 模 け 0 まに が う ばたれ支 があ 言 さ 社 5 n に 受 で Þ で 大 れは 死 Ν た 規 な 活 Ρ 守 ま こう 模 問 Ο る 11

題

と

11

て

ŧ

過

な

7

ま

11

攻

擊

は 0

小 た

さ

な

会か

分払大

11

さ 関 n 0

L 害

れ う デ 11 タ  $\mathcal{O}$ っま と影 す。 て い響 ま う で は た を す  $\mathcal{O}$ 及 そう 意 はぼ 企 を 必 す 業 持 ず L 社 た 存 0 外 は 在 秘 情 た 者 L 株 報  $\mathcal{O}$ て 情 はに 価 宝とい報 に

さ ょ 1

切 な遂い 使 ら 関て を f, 連 大 例 山 企 え W 企 で 業 セ 業 ば 丰 カュ が 5 あ ユ う 直 IJ ば n *\* \ テ 1 ば 接 0 イ 1 盗  $\mathcal{O}$ めた そ 考 な情 甘 えかい < 報

> 年 (

大

務 な

ル

が

لح

L

1 2 ル 行 環 Е В わ境 ル L C 詐 Е とし かウク コ知 た る エ セ ン ら 特 か盗 カコ など た定 ŧ ア ス な 0 て 他 V  $\mathcal{O}$ L き に間 サ 会 れ売 様 В 1 社 々 Е 入 に まれ す な C ŋ 所 バや せ ん。 ] 寸 手 込 有 段 ラ む す 攻 体 撃」 るパ で ン 不 を そ 襲サ う 正 標

ソ

は的

ア

が支 当 円 例 らが 5 と 判は漏 そ れ 断信  $\mathcal{O}$ 用 結 れの L 果 Ł 7 な لح 6 +取 分 引 な て に がい発 想 打 取 注 デ ち引元 1 定

切先かタ

コ ま ] れ

Þ

Ι

Τ

機

器

な

تلح

届

誤

0

て

応

じ 子

て

数 ]

億

L

ま

て被

まに

う

で

る

空

슾

際

に

報

道

さ

れ

た

事

メ 象

NA

引

用

資

内

サ

イ

セ 閣 T

B В

団い害

のす

払 者

を航

め機

る

電

メ

求空あ

 $\mathcal{O}$ 航

IJ

]

ス 社

ルの担

料の

パ

お害 欺せ を に 間  $\mathcal{O}$ W が、た 遭 報 1 合 0 告 ح ピ わ た は で ジ 場 せ あ 1 な で う りネ 合 サ L ] 話 1 は ス ょ ル メ バ う 左 万 は 印 が 1 聞 1 記 き 攻 ま \_ ル 刷 撃 で 被詐 ま 業

始 十十七 電 七時 は 八 話 除 時 ( で 七 十二七五 < 0) 土 相 日時〇 談 九 祝 は 十三 日  $\bigcirc$ 受 年 時 付 末半時 五.

間九

田  $\bigcirc$ イ 町  $\bigcirc$ 安 J 心 Ρ <u> </u> 兀 相 Α 東 談 情 京 窓 報 都 П セ  $\mp$ 丰 代 ユ 田 0 IJ 区  $\bigcirc$ 永 テ

x.h p/security/anshin/inde h ttps://ww w.ipa 0

SIN セ 丰 ユ IJ テ イ

天

氏



七一清で三天く六〇宮念、野和 りた の田部 、がス初金し に月 和願出氏 箔に 優 気い 九 あ あつ午」 夫の が 勝の於 る 二五いも後よ 氏 初 を天い が優八三、 木 飾野て あのか 時 桜 五勝の いラら り紀開 ネ五とべはは ゴ ま和催 り五こ プル快小し氏さル城 ッ〇 トのレ会睛雨たがれフ県 ネ四高 九齢七一 1らとで 念 ` トのの五〇ししなし 願村楽敷は

### 連合会から協賛会への要望書

令和4年6月6日

全日本シール印刷協同組合連合会

価格改定におけるご配慮に関するお願い

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当組合会員企業への並々ならぬご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

さて早速ですが、昨秋以降、近年の景気低迷等による原材料コスト増、配送料の高騰などを理由に「価格改定の通告」が当連合会傘下の組合員企業に続々と届き、昨今では世界情勢を背景にした原燃料価格、電力・物流経費の上昇を受けて再度「価格改定の通告」が当連合会傘下の組合員企業に来ております。

この件については、当連合会傘下の各組合でも対応に苦慮しており、「価格改定」の妥当性について当連合会理事会などでも検討を重ねて参りました。

協賛会各社様を取り巻く外部環境の激変を十分に勘案しながらも、「サプライチェーン全体の共存共栄」の観点、ならびに「組合員企業の公平な競争環境を維持し、各社が切磋琢磨してシール・ラベル印刷産業の持続的発展を図る」という観点から、「値上げ幅については組合員の実情を考慮して頂きたい」、「値上げの開始時期については原燃料価格、電力・物流経費の上昇の推移を見守りながら可能な限り引き延ばして頂きたい」という結論が当理事会で決議されました。

諸々のご事情があるかと存じますが事情勘案の上、標記の件につきまして何卒ご理解を賜ったご対応をお願い申し上げます。

今後もシール・ラベル印刷業界発展のために格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。 敬具

## 寄 生 命 0 種」 5

# 世紀病 は お 金がリスクに」

有) Т O O 田 ゑ

#### 世 紀 紀 の 病病 を 気 疫 学 そ 的 の に ① 手 で 0 つ

り団遺すのえ全伝べのゲ 期 子 現 間 う 子て 7 を代 な体 現 で 外病進 いにが遺代ムみ 0 す急化 ひた伝病のる世 と増した っ子の時 ヒろ のなト ま たの増代 環原いはる は そ こ世ず 因 のは んと紀が原言 のか 6 なはでな 因 う 化遺 短あ集い がも な流はン T のい 金二ら行カ よの欧ど段うは米こと ドい  $O + \neg$ 国ナ る あ \_ 豊 のダ に ア 才 社 ることが」で 特 ] メ 世 西 IJ 徴 南 は 紀で ス  $\vdash$ 中カ はは = 病 ・ラリ と に ブ ユ 南 リのい ラ ] 部、 言 押 場 うこ ジ ア、 率る で ジ L ] 合 言 ル 寄 津 が **か** 

北ラ

尿

病

る少

 $\lambda$ で せ波

に慣 なな 一境 る。 つが な しは影 تلح 病 免 響 気の栄身 器い疫 しの環 長 養 な境 系て やが らがい ŋ 運 遺 で し過 や決動伝 る い剰は す ま 子 さる生だ ず 反 の二応だ もよ活け だ一国高、世のめ 富な る 裕 層と 裕 紀 経 る はい 福病済 う 人の にに力給 み相ななが料 関 り れ 高 ま ばやい 関 周 井 食品れ係 不す ほ

環

起

う 習

でに

伝

境

変

お

が

ス

ク

 $\mathcal{O}$ 

病的て現 つを い代 な 目 過 下 る 病 は 腸 と 消 敏 痢 だ腸る性に機同。内。腸必能に 化て 腸悩能 じ < 症ま不 障る 候 さ 全 腸 害 群れだがだ。 関 は 連う慢 連 他 動っ性 L 裕自健サ新者来 タ 一のの合 バ富

ビ健

ス康

を情

常

と品

りいま

最 窮

さ

高

高 児

都はお

の種

スと

市人けア

ラい息カ

る

喘

ま ŋ 好

で

う

メ

IJ

にか

日いコめ

やる

ちの

帰嗜

品だなは

持

が肥て 解 源も < 内  $\mathcal{O}$ に 疫を 学 通 欠 かは過 医 す せ 学る な 的食 を 増 層由康

がが維

体る

進

で

確

え

は

免 別

な強だと

系

疫はす

う

大

あ持

 $\mathcal{O}$ 

な物

② 康層 状が 陥 重 7 い性 る 的

## が 気 る

によオア広な がい癌誰 0 がつりすカ代型断歩頃ピ 0 がき 出 ] て子 高 病 つの い供 齢 出る 頃 Þ 若 五 自 産  $\mathcal{O}$ ア 歳 閉直 者 病か に 症 後 レ を ル中気 なは一 るよ う ち 二 ギ心で 前ち には

لح う ○はて 生メら と欧%一お時リ十一診ちのト 過 % での前糖 体が歩に赤半 重 き 標 と 小 始 準 坊 発 な児め体は症 重七寸幼 る期 る にこ を % はろ超に

<u>ど</u> 0 つい ` 康 富 出た 再 にた十 の亡行人 と糖因 人せ者き期 を尿 人類い増着前 た な米 病 تلح لح 加 く半 0 で 。にれ高ては はの 言原成始ば血い高 え因 圧 人ま る齢 心者 なは病 る 小 い単に過 児癌 臓の 期な病主やどはな のに よ体 だ長。寿 る重 寿死に 成 £ 死

健い

。た 得報なは 重 途め らや ア に れ最 玉 玉 選 自のらは ル で 択 は ギはす 身医に困 ] 富 の療 る いろがム うのの う判街 よ有黒 明 か明の り病 , 率 の は クの小ど な 女た ラ スさ は性起

> 関実 のし生い 与 方 て活 し病がい 7 気なる 慣 いの りが のホ る進や 可展す現い モ 能にい代 性 免 と病 を疫 いに も遺 示 系 う女 関 しが事性係

。期 三にえ出アか 病 て <u>二</u> 十 で 気 £ ま で る だ持れ なは つて いな世 者(特 い紀 て、 若 病 く遺は 強 て伝高 女 靭 経 的 齢 な済な者 免的病の

後で世偉、紀紀大 は一か最の疫に気 変 〇 の 人世ら後病性恵 は紀感 化年病 大 十に代気 め感 な 類紀始に気を っ染 そ革 の前ま のが 目十拡た症 の新 歴にっ + 紀す年大にが 百と 史あた 病べ間しなほ年発 を るの世 新女代子はきにたかぼ間見 か 紀 通 つ消 で が じ 病 こ一た滅 先 あ 7 十 期 は っ九一 し 進 2 最 世限 1 た四連た国たも紀はつ

いで でれ代 始男のが一注 ま性 若 多 世  $\langle$ ょ V) n 世 が供腸だ起 狙や つ国 そ で てやしい十 起 増途て撃代

## 咳 ع 痰 が

要

で

す

特

こう に る 7 泌 う は 物 咳 11  $\mathcal{O}$ L ること な 炎 が は た ど 症 長 な を 染 症 P 引 い 状 か 排 気 < 0 症 が 場 6 出道 に 起 起 痰 気  $\mathcal{O}$ 合 L 管 過 を ょ う 支 0 る 剰 لح 気 す لح て 喘 原 な 道 息 因 1 L 分 粘

t な 心病 尿 に い呼 が 横 < 病 吸 لح が が か に け あ カゝ 器 ŧ な る 0 れ 科 なれ 7 心 方 臓 た ま う 苦 < を な だ 受 は 病 場 経 で V L 診 さ 早 呼 合 لح < 験 VI  $\otimes$ 膠 が 吸 は て L 11 原 器  $\mathcal{O}$ あ 0  $\mathcal{O}$ す

と ま ょ ŧ た 5 < 呼 な 吸 う 左 場 記 器 合 科  $\mathcal{O}$ を ょ は 受 う で 診 き な る L 症 だ ま 状 け を

る

た

8

炎

症

に

0

て

L ょ

じ 顔

を P

呼 な 症 痰 吸 0 状 血.  $\mathcal{O}$ が 7 が が 色 しきにた 頻 混 が 繁 じ 濃 に る < 11 起 VI 粘 る ŋ ょ が う 強

لح

痰

0)

症

状

が

穾

然

は

胸 痛 熱痛 4

頭 動 食

Þ 悸 欲

顔

目

 $\mathcal{O}$ 

下

B

額

な

تخ

やが

息な

切い

れ

が

あ

る

ŧ な が あ 慢 PD) تلح ŋ ま 深 肺 な す 刻 炎 تلح なや 肺が 病 考 結 気 えら  $\mathcal{O}$ 核 可 能 肺れ 性 が ま  $\mathcal{O}$ ま

だ

け

が

長

<

残

0

T کے 症

を

S

11

て

咳

後

に

咳

ح

痰

0

状

B

す

場

合

は

気

管

#### 診 を W な 場 合 は 早 め の 受

場 熱 合 が な 呼 < 吸 て 器 痰 科 Þ 0 咳 受 診 が が 続 で

広

が

0

て

起

こる

気管

支

性 閉 患 症 風 風 発 状 邪 邪 の

## No187 健康がいちばん!

咳が長引くときは要注意!

慢性閉塞性肺疾患(COPD)か

## 塞 性 肺 疾

がの うこ ま 後 風 だ で 邪 残 気 と が 道  $\mathcal{O}$ 0 炎 て あ 粘 症 い膜 ŋ が る  $\mathcal{O}$ ま 感 ダ す 気 管 染 メ 支 後 ] 風 ま咳 ジ 邪

てく 眠 呼 た 受 病 る れ 吸 診 病  $\mathcal{O}$ だ ぐ 症 な さ 持 糖 気 状 を 鼻 受 る て 疑 を 感 副 L に < < 腔 診 場 て L 起 染 鼻 合 ŧ ま は 腔 n す ま う な 額 改 ま る が B L は る لح す て ウ な ょ で た 慢 11 1 頬 L () 目 う。 きる 性 に な 8 る 炎 ル 症 V 化 副 ょ ス 0 な だ L を 鼻 0 P 数 下に お け 日 放 腔 て 悪 て 細 早 経 治 置 化 炎 炎 菌 あ 副 < す 過 L L が 症

Ł う 生 頭 咳 ■ 早 L じ に るこ た あ 痛 8 る  $\mathcal{O}$ 症 4 とも 受診 日 状 P 突 が 重 とも 苦 が あ 咳 必 ŋ なう ح 要 ま い 痰 で す 感 0 がす 場 ح 合

とも がな喘 咳ら じ が朝 と 咳 息 ま ゼや 出方 あ が 11 2 Š に ŋ 1 痰 疑 た ま喘 ゼ わ 場 カコ  $\mathcal{O}$ いけ す 鳴 症 合 れ ます を 状 12 7 • と が  $\mathcal{O}$ ま Ł は ŧ 時 た ユ 現 間 な ] れ 気 発 うこ 管 帯 作 ま 夜 ヒ す 的 支 に カコ ユ

痰 伝 ア え 支 イ な V ま 喘 ル تلح ル ス 息 す B  $\mathcal{O}$ 細 気 可 管 能 大 菌 支 性 カ 1 喘 6 ょ が 発 V る 息 高 感 はい 症 ス 染、 と L ま 遺 ウ 言

難 気 く 管 支 放 喘 置 息 す は る 自 لح 然 悪 治 化 癒 が

> 合 < L ル 切 P 科 いが な は 11 す を لح 治 必 1 受 で 横 要 11 療 傾 きる 診 0 に で に 向 た な す ょ L が て だ 症 る る あ < け 状 特 コ る だ 早 呼 た さ < 1 あ 吸 8 る はい 呼 L 息 口 吸 場 苦 適

### 慢 性 的 に < 場 合

さ に لح す < 呼 閉 症 ス ス 喫 患(COPD) が る て 治 L る 0 < が な Þ 煙 だ か 場 な 気 癒 ま 吸 塞 に が 場 だ 5 付 う 性関 遺 に 合 بخ は 重 ŋ 多 に 合 適  $\mathcal{O}$ を 酸 さ た 三 い呼 に 木 要 切 B 機 肺 わ ょ V 伝 V は لح たら 週 吸 は 素 難 な な す  $\otimes$ 能 疾 的  $\mathcal{O}$ 0 0 ŧ が で て 慢 間 不 で 病 治 自 患 て な 11 な 疑 な早 す (co)す 発 以 で 気 療 傾 痰 体 要 性 科 足 11 う きる わ閉 で を を ま 症 上  $\mathcal{O}$ お 8 向 が 因 が カコ な PD) 咳 続 す 低 れ 症 に 5 受 が 出 す す 塞 だ 受 L け تلح ま  $\mathcal{O}$ 状 息 あ 下 排 る 性 1 L 診 け 苦 自 ŋ に で 慢 Ł ケ す 肺 て が 症 る L 気 症 状 然 ま < 性 発 ガ ] 疾 L L 7 は 11 状

# な る ほ المح ざ 新 製 品品

卜 五. S な 九 横 m 体 七 浜 a 八 型 市 С 八 О 港 **7**3 <u>(</u>) は 北  $\bigcirc$ を 1 几 区 開 検 新 コ 五. 発 査 横 装 パ 五. 浜 発 置 ク 九

IJ

ウ

ス

ピ

ジ

彐

神

L

た

同

機

は

従

来

 $\mathcal{O}$ 

検

査

門 品 操  $\mathcal{O}$ 検 で 作 性 代 査 検 す が を 替 を 查 で 下 が お 装 き げ で 置 るよ きる な 7 で す。 誰 0 うに で ょ 7 らうに、 ŧ 11 L 簡 る が 単 作 た 目 製 に 専 業

 $\Omega$ maco 用 ル 途 は 製 を 品 大 角 き 2 < 5 広 小 げ サ る 奥 ア 行

ズ

までを

対

象とす

る

長 には搬 基 本 き 合 送 を わ フ 検 セ せ イ 査 て ガ 対  $\vdash$ 作 ダ 象 す るだ L  $\mathcal{O}$ F. 部 て  $\mathcal{O}$ メ け 幅 1 デ  $\mathcal{O}$ ま Þ イ

視 特 とに 化て 能 フ べ で 数 が セ きま 量 可 T ツ コ オ  $\vdash$ X 能 を ブ す。 分 す 使 で シ け ア る え  $\exists$ 上 ば 0 定 検 査 作 数 で  $\mathcal{O}$ 業 لح 区 位 区 ŧ 並 分 置 定 分 行け 数 効 が け 率 機 L

は、 に 対 検 応 検 查、 全 可 変 検

タ 照合可 可 変 デ タ 検 査 デ

タ Ρ 検 査 D F 可 能比

11

ま

す

コ ドに 英 数 Ο 対 С 応 R 各 種 バ 1

IJ ア ル な 欠 能陥 表 り示

ポ

1

機

あ

ま 枚 で も ダ 対 0 送 応かの 機 5 特 能 厚 長 لح 4 7 Ĺ  $\mathcal{O}$ ル あ 7 チ る は Ł フ  $\mathcal{O}$ イ

間 欠 2 搬 送 方 式

コンパクトな一体型

従来の検査業務の用途を

シート検査装置「Smaco」発売

大きく広げる新ジャンル製品

往 (英数 復 は が段 (OCR) き.. 60000通

時

時 角 2 内 容 封 筒 物 入 縦 'n 8000

通

封 サ , イズ 搬 送 サ イ ズ . . 角 2

ランダム厚

み

対

応

最

才 ŋ  $10\,\mathrm{mm}$ 

比 査 較 機 能  $\mathcal{O}$ 特 長 と L 査 て コ に

能 較  $\mathcal{O}$ 全 可 変 デ Ì に そ て

ア 力 検 約 査 メ 力 部 ラ メラ部  $00 \,\mathrm{mm}$ 仕 様 は × 範 次 2 囲  $\mathcal{O}$ 幅 Μ 通 .. エ IJ ŋ

果 検 能  $150 \,\mathrm{mm}$ IJ QR\OCR) 比 査 タ シ と の ス (PDF)バ 自 ヤ 1 タ ] 動 ツ 検 表 穾 コ 設 汚 タ 位 査 合 れ 定 ] マ 置 せ K 位位 可 ス バ 可 \* 可 検 タ 1 動  $\bigcirc$ 出 置 検 1 全  $\mathbf{\Omega}$ コ  $\triangleleft$ 可 1 合 査 デ 査 Ì 変デ ド可わ機連約送

い像 で 面 ン 載、 Flex検  $\mathcal{O}$ 兀 な が 内 Þ L す 査 場 種 た で 0 表 で 査 Ź て が 所 類 6 検 設 示 検 部 査シ できる を  $\mathcal{O}$ 查 お さ 定 検 に 指 機次  $\mathcal{O}$ ŋ れ カゝ は に 5 ス ソ 定 能 7 る 誰 テ す ス 検 フ 流 を 検 力 12 タ  $\Delta$ れ れ 選 査 メ イ 査 1 ] ラ ア 結 は ウ ŧ に ば  $\lambda$ を で、 ア ウ L を 果 エ な す わ ぐ  $\vdash$ ま た 撮 1 ア 0 画を

## 九 $\bigcirc$ 回 リウス 日

第